

# 筑豊小児科医会会報

Vol.221 2025.6



## Contents

- ◇ トピックス
- ◇ 研修医のご紹介
- ◇ 小児科関連勉強会のご案内
- ◇ 飯塚病院 月間診療のまとめ《2025年3月》
- ◇ AI-CAP 通信
- ◇ 大矢先生復職のお知らせ
- ◇ Pediatrics note (小児科 診療部長 大矢崇志)

発行：飯塚病院小児センター（飯塚市芳雄町 3-83）  
（代表）TEL：0948-22-3800

## トピックス

### 小児外科 部長 <sup>こんどう</sup> 近藤 <sup>たくや</sup> 琢也

この度、小児外科の部長に就任いたしました近藤琢也です。

前任地は九州大学病院で、長らくそちらで小児外科の診療を行い研鑽しておりました。専門分野は新生児外科や栄養の分野ではありますが、小児外科全般の処置・手術に対応いたします。峠径ヘルニアや精巣位置異常、臍ヘルニアなどの比較的頻度の高い疾患だけでなく、希少疾患や特殊な手術、診断に苦慮する症状や疾患も多く、お困りの症例などございましたら一度相談いただければと存じます。皆様のお力添えを賜りながら、筑豊地区の小児外科専門医常勤施設としての責務を果たすとともに、患者様や先生方からのニーズに応えてまいります。筑豊地区の子どもが少しでも健康かつ快適に過ごしていけるよう努力したいと考えております。至らぬ点も多いかと存じますが、ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

## 研修医のご紹介

### ●初期研修医 1 年目 <sup>くにさき</sup> 國崎 <sup>しゅう</sup> 修

初期研修医 1 年目の國崎 修と申します。福岡市出身で長崎大学を卒業しました。今月から小児科をローテートさせていただいています。小児科診療ははじめての経験で分からないことだらけですが、子どもたちやご家族との関わりを通じて多くのことを学びたいと思っています。4 週間と短い間ではありますが、どうぞよろしくお願い致します。

## 小児科関連勉強会のご案内

### ■ 第 368 回筑豊小児科医会勉強会

- 日 程：2025 年 6 月 18 日（水）19:00～20:00
  - 会 場：飯塚病院 教育研修棟 4 階 424 セミナー室  
7 年ぶりにみた大学での内分泌診療  
久留米大学病院 小児科 助教 齊木 玲央先生
- \* 詳細は案内状をご確認ください

### ■ 第 369 回筑豊小児科医会勉強会

- 日 程：2025 年 7 月 17 日（木）18:30～19:30
- 会 場：飯塚病院 北棟 4 階 多目的ホール

8 月の筑豊小児科医会勉強会は、規定により休会とさせていただきます。

## 飯塚病院 月間診療のまとめ 《2025年3月》

- 入院患者数 139人 ●外来患者数 1,105人 ●救命救急センター受診者数 62人
- 新生児センター入院患者数 13人 ●分娩件数 25件 ●手術件数 8件
- 主要疾患数（退院患者数：124人）

肺炎・気管支炎	34	急性胃腸炎	14	痙攣及びてんかん	8
急性上気道感染症	5	新生児呼吸障害・心血管障害	4	喘息	3
低出生体重児	3	腸重積・腸閉塞	2	その他	49

### ●紹介件数（五十音順）

小児科：120件		小児外科：19件	
弥永内科小児科医院	9	栗原小児科内科クリニック	5
飯塚市立病院	8	ささきこどもクリニック	2
西園内科クリニック	7	いいづかこども診療所	1
こどもクリニックもりた	6	飯塚市役所 こども未来部 こども家庭課	
ささきこどもクリニック		飯塚市立病院	
飯塚市役所 こども未来部 こども家庭課	4	嘉麻市役所 子育て支援課 母子保健係	
嘉麻赤十字病院		高宮かくら小児科	
松尾ファミリークリニック		たなかのぶお小児科	
まつなり医院		津川診療所	

最新の情報は飯塚病院ホームページよりご覧ください。

また、小児科・小児外科の詳しいご紹介や診療実績は「診療科のご紹介」をご覧ください。

外来担当表



小児科のご紹介



小児外科のご紹介



院内における小児虐待の問題に対応するため、平成 18 年 2 月に設立された AI-CAP (Aso Iizuka - Child Abuse Prevention : 小児虐待防止委員会) の活動は、今年で 19 年目を迎えました。平成 25 年には福岡県の虐待防止拠点病院に指定され、現在に至っています。この間、院内で困っている子どもを見つけた際には、所属部署に関係なく報告できる仕組みを整えてきました。日頃より職員の皆様のご協力くださっているおかげで、現在も円滑に機能しています。

さて、この 19 年間で、子どもたちを取り巻く状況はどのように変化してきたでしょうか。児童相談所における児童虐待の相談対応件数は増加の一途をたどり、平成 18 年には 37,323 件だった件数が、令和 5 年には 225,509 件と、ついに 20 万件を超えるに至りました。こうした数字は、虐待を受けてつらい思いをしている子どもたちの存在を示すと同時に、同じ数だけ、子育てに悩み苦しんでいる親御さんたちがいることをも物語っています。子どもが強いストレスを抱えているとき、その背景には、その親たちが社会的・経済的・心理的なストレスにさらされているという現実があるはずです。

子育てがしにくく、親が孤立しやすい社会の中で、親子がともに行き場を失ってしまう——そうした状況の中で起きてしまう児童虐待に、私たちはどう向き合っていくべきなのでしょう。虐待が疑われる場面に直面すると、つい正義感から「誰が悪いのか」を追及してしまいがちです。あるいは、加害している立場の人を恐れて、声をかけることをためらってしまうこともあるかもしれません。けれども、ここは病院、「ホスピタリティ（思いやり）」を提供する場所です。正義を追求する場ではありません。いつも通りでいいのです。困った行動をとっている人は、実は「困っている人」かもしれません。気になる子に出会ったときには、どうか普段どおりに、「何かお困りのことはありませんか？」と声をかけてみてください。あなたのそのひと言を、待っている人がそこにいるかもしれません。

文責：AI-CAP 大矢 崇志

<AI-CAP 事務局へのお問い合わせ> TEL : 0948-88-8220 (直通) FAX : 0948-88-2806

## 【大矢先生復職のお知らせ】

不在となっていた大矢先生が 5 月末より復職いたしました。

受診の予約をお待たせする状況がしばらく続きますが、何卒ご理解いただきますようお願いいたします。

## Pediatrics note (小児科 診療部長 大矢崇志)

先日、昨年から観たいと思っていた映画『コット、はじまりの夏』を鑑賞しました。5人きょうだい、妊娠中の母親、ギャンブル漬けの父親という大家族のもとで暮らす少女・コットの物語です。彼女の家は経済的に困窮しており、ランチボックスには食パン一枚しか入っていません。学校では一言も声を発することがなく（英題：The Quiet Girl）、友達との些細なトラブルをきっかけに学校を飛び出してしまいます。自宅にも戻れず、整地されていない草原に身を隠すように横たわり、静かに過ごすような少女でした。自宅にも学校にも安心できる居場所がないコットですが、母親の出産が近づいたある年の夏休みに、伯母さん夫婦のもとに預けられます。心優しい伯母さん夫婦との穏やかな生活を通して、少しずつ変化していくコットの心境が、美しいアイルランドの風景とともに丁寧に描かれており、すべての人におすすめしたい傑作でした（YouTubeにある予告編を見るだけでも泣けます）。

とても感動した一方で、小児科医という職業柄かもしれませんが、一つだけ引っかかる点がありました。それは伯母さん宅に移った後のコットが、手のかからない“いい子”として描かれていたことです。内にこもり、家族以外には声を発することができず、学校でもコミュニケーションが取れなかった彼女が、初対面の夫婦と自然に会話を交わし、早い段階から心を通わせていきます。伯母さん夫婦を困らせるような描写はなく、一方で、一人になったときに不安から葛藤する様子も、あまり描かれていませんでした。外来で接する、コットに似た家庭環境で育つ子どもたちとは、ずいぶん印象が異なって感じられたのです。傷ついた子が他者からの愛情を受け入れ、順応していく過程には複雑な感情の揺れがあるはずですが、だからこそ、彼女の心の動きやその変化を、もう少し丁寧に描いてほしかったという思いが残りました。

僕は、映画には“ややこしくて、大人の思い通りにならない子ども”を描いてほしいのです。その点で、カルラ・シモン監督の『悲しみに、こんにちは』はおすすめです。親元から親戚に預けられた少女の、ままならない姿が、淡々と、それでいて細やかに描かれています。機会があれば、ぜひご覧になってみてください。

### 【お知らせ】

以前より、このコラムに掲載してきた文章をまとめて読みたいとおっしゃってくださる方がいらっしや、このたび調子に乗って一冊の冊子にまとめてみました。もしお読みになりたいという奇特な方がいらっしやいましたら、下記のメールアドレスまでご連絡ください。PDF ファイルにてお送りいたします。

メールアドレス：tohyah1@aih-net.com  
件名に「冊子希望」とご記入いただければ、  
折り返しご返信いたします。

### 表紙／まえがき

